

単施設用

研究実施についてのお知らせ

西暦 2019 年 10 月 28 日

【研究課題名】

指尖部切断再接着後のうっ血に対するヘパリンカルシウム局所注射の有用性の研究

【研究期間】

承認日～令和 2 年 12 月 31 日

【研究対象】

1993 年 1 月～2013 年 5 月に沖縄県立中部病院形成外科で指尖部レベルの切断指にて再接着術を受け、術後に瀉血処置を受けられた方

【研究目的・意義】

指尖部の完全切断例では、可能な限り再接着を行うことが望ましい。再接着では通常、動脈と静脈を吻合する必要があるが、指尖部レベルでの再接着では静脈が細く、吻合できない場合がある。静脈が吻合できないと再接着した指はうっ血して、壊死する可能性が高い。うっ血した指に対する治療として、定期的に指を穿刺して溜まった血液を出す瀉血という方法があるが、頻回の処置が必要となり、その成績も安定していない。

当科ではうっ血した指にヘパリンカルシウムという抗凝固剤を注射し、持続的にゆっくりと出血させる方法で瀉血を行っている。本法は頻回の処置を必要としないため、患者および医療従事者の負担が軽減されるという利点があり、指の生着率も高いとされている。

本法における切断指の生着率や出血量を調査して問題点を明らかにすることで、本法が再接着後にうっ血した指に対するよりよい治療法となると考える。

【研究方法】

この研究を行う際は、カルテより下記の情報を取得します。術前の状態、手術の情報、術後経過（再接着後の生着率、瀉血に伴う出血量等）の関連を調査し、ヘパリンカルシウムを局所に注射する有用性を明らかにします。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

術前因子

1. 術前写真 組織欠損の範囲 年齢 性別 身長 体重 既往歴等
2. 血液検査結果（血算、肝機能、腎機能、血糖値、HbA1c 等）

手術

3. 切断レベル 吻合した血管数 手術時間 術中写真等

術後

4. 再手術の有無 術後出血量 術後写真 感染 創治癒期間等

5. 周術期合併症等

機能・予後

6. 術後手指機能 萎縮の有無 関節拘縮の有無等

【個人情報の取扱い】

対象者の測定結果、カルテの情報をこの研究に使用する際には、対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、沖縄県立中病院形成外科のインターネットに接続できないパソコンに保存します。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した個人情報は、沖縄県立中病院形成外科・科長・今泉 督の責任の下、厳重な管理を行います。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：形成外科 担当者名：今泉 督

沖縄県うるま市宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）